

令和 7 年 7 月 18 日

北勢線対策検討特別委員会

委員長 片松 雅弘 様

東員町議会 議員 三林 浩

## 研修報告書

研修期間	<u>令和 7 年 7 月 16 日 (水)</u> <u>～令和 7 年 7 月 17 日 (木) 【2 日間】</u>
研修（視察）先	徳島県 阿佐海岸鉄道
目的（テーマ等）	
参加議員名 (複数の場合)	片松雅弘議員、山崎まゆみ議員、大谷勝治議員、 伊藤治雄議員、広田久男議員
資料添付の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

●研修概要

日時	令和 7 年 7 月 17 日（木） 10 時 30 分～12 時 30 分
場所	道の駅穴喰温泉内 会議室
内容	1 阿佐海岸鉄道の歴史 2 DMV と徳島県との出会い 3 阿佐東線での実証運行 4 「DMV 技術評価委員会」での中間とりまとめ 5 JR 北海道の意思を継いで 6 自治体との連携 7 DMV の地域への波及効果 8 導入までに乗り越えてきたハードル 9 世界初の本格営業運行開始 10 運航開始後の利用状況 11 先駆者としての役割 12 DMV—観光資源として

＊阿佐海岸鉄道乗車（30 分間）

●所感

本町における「北勢線」と比較すると鉄道の目的が大きく違うように思いました。阿佐海岸鉄道は通学・通勤の人を運ぶことがメインではなく、資源を活かした観光を目的に運行しています。その数字が謙虚に表れ、現在は通学・通勤で利用している乗客は極わずかであります。それに対して北勢線のメインは通学・通勤であるため、DMV の活用は非常に困難と思いました。

しかし、阿佐海岸鉄道も今に至る道のりは簡単なものではなく、努力の結果と思われまます。何故なら日々どうしたら黒字経営に出来るか考え、新たなことを取り入れようとする姿に感銘しました。

本町に DMV の活用は困難としても「どうしたら良くなるか先を見通した考える場」を持ち続けることは、本町としても学ぶところと強く思いました。

これをきっかけに本町でも建設的な議論ができるようにしていきたいと思いました。

以上